



# The Y's Men's Club of Sendai

仙台ワイズメンズクラブ 2016年12月報

- 国際会長主題 「私たちの未来は、今日から始まる」
- アジア地域会長主題 「ワイズ運動を尊重しよう」
- 東日本区理事主題 「明日に向かって、今日動こう」
- 北東部長主題 「明日のために、いま土台を築こう」
- クラブ会長主題 「笑顔で今活動を」～出愛・ふれ愛・学び愛～

会 長 吉田一恵  
 副 会 長 佐々木絹子  
 書 記 横倉 純  
 会 計 田中京子  
 メネット会長 田村成子  
 担当主事 鈴木陽子

仙台クラブ事務所 : 〒980-0822 仙台市青葉区立町9番7号 仙台YMCA内  
 仙台クラブ Facebook: <https://www.facebook.com/sendaiys/>

## <今月の聖句>

「わたしの魂は主をあがめ、わたしの霊は救い主である神を喜びたたえます。身分の低い、この主のはしためにも、目を留めてくださったからです。今から後、いつの世の人も、わたしを幸いな者と言うでしょう。力のある方がわたしに偉大なことをなさいましたから。」

ルカによる福音書第2章47節～49節

## 12月の例会

日 時 : 12月22日(火)

18:30~21:00

会 場 : 仙台YMCA立町会館

3階サービス実習室

内 容 : クリスマス礼拝  
オークション他

司 会 : 佐々木絹子

食前感謝 : 小幡忠弘

会 費 : 2,000円

## 11月例会報告

在籍者	18名
出席者	9名
メイキャップ	1名
ゲスト・ビジター	4名
メネット・コメント	1名
出席率	55.6%
ニコニコ	12,000円



## 巻頭言「台湾の歴史」

阿部 靖

10月の仙台ワイズの例会で、台湾で開かれたワイズの国際会議の報告があり、それを聞いて、太平洋戦争の敗戦後71年も経った現在では、台湾の人が、どうして割合に親日的なのか判らない方も多いのではないかと考えました。それでパソコンのWikipediaで調べてみました。

古い時代のことは省略しますが、ヨーロッパ船として初めて台湾に到着したポルトガルの船員が緑に覆われた台湾に感激して「Formosa 麗しの島」と叫んだという伝承から、台湾の別称であるFormosa フォルモサ（中国語で美麗島）という名前が誕生したとされています。1624年オランダが台湾南部制圧し、その際に台湾原住民がオランダ人をTayouan(現地語で来訪者の意)と呼んだことから台湾(Taiwan)という名称が生まれたという説もある。1626年スペインが台湾北部を制圧したが、1683年に清国が全島を制圧した。

1894年に日清戦争で清国が敗北し、台湾は日本に割譲された。その後、日本は台湾を植民地としてではなく、日本の一地方として考え、①アヘン使用の制限、②上下水道の整備、③台湾南西部の烏

山頭ダム建設による農作物の増産(このダムの建設には石川県出身の八田与一の献身的な努力があり、烏山頭ダム付近の民間人によって作られた八田の銅像がある。堂々と立っている銅像ではなく、どうしたら良いダムが出来るか座って考えている謙虚な銅像である。台湾のこの地方の出身である陳水扁総統

も感謝の言葉を述べている。何故か日本の教科書には八田与一のことは、あまり載っていないが、台湾の中学生向け教科書「認識台湾歴史編」には詳しく紹介されている由である。④教育制度改革による就学率の上昇（1943年には就学率は71%とアジアでは日本に次ぐ高水準）、⑤鉄道の敷設などにより、人々の生活の質は非常によくなった。これらの理由で、台湾には日本に好感を持っている人が多い。台湾の高齢の人は日本語もわかる。台湾から日本内地に入学した人も多く、私の兄が在学していた旧制二高（現在の東北大教養部）にも同級生に台湾出身の人がいて、後で台北大学の教授になった。

日本の敗戦後には中国から蒋介石率いる中華民国（外省人）が来て、台湾人（本省人）を弾圧、1996年にやっと本省人の国民党の李登輝が主席となり、現在は民進党の陳水扁が主席となっている。（因みに東日本大震災の時の台湾からの義援金は震災後1か月の時点で141億円、1世帯当たり1682円で、台湾の1世帯当たりの収入は日本の半分程度。中国は総額で3億4千万円、韓国は16億円）

### 12月強調月間「EMC/MC」

今月は「EMC/MC」の強調月間です。Extension Membership & Conservationとはクラブ拡張、会員増強、維持啓発です。特にMCは新会員獲得と会員意識の高揚をはかること。共にワイズメンズの運動を直接拡大強化する月でインビテーション・キャンペーン期間が今月から始まります。

## 11月例会報告

日時：2016年11月15日（火）

会場：仙台YMCA立町会館 会議室

出席者：今澤・小幡・工藤・佐々木・高松・田中・中川・吉田・田村メネット・鈴木担当主事

ゲスト：伊勢文夫さん（スピーカー・仙台広瀬川クラブ）

門脇秀知さん（仙台広瀬川クラブ）

鈴木冲さん

土橋敬太さん（YMCA 専門学校事業部）

内容：

今月は卓話者に仙台広瀬川クラブの伊勢文夫メンをお招きしての例会でした。鈴木陽子担当主事による司会で吉田会長の開会点鐘で定刻に始まり、今月の聖句、ワイズソング、ワイズの信条、吉田会長から「例会にご出席有難うございます。韓国のパククネ大統領退任のデモの報道、先週の次期アメリカ大統領選挙でトランプ氏が当選し日本にも少なからず影響があるなど連日様々な報道があります。また、先日宮城県沖震源の地震、ニュージーランド南島の地震等忘れてはならない出来事が多い中、スポーツでは、侍ジャパンの強化試合等のアスリートの活躍の報道から元気を頂いていることは嬉しいものです。スーパームーン



68年ぶり最接近、見た方いらっしゃいますか？」と問いかけ、「本日は多趣味でいらっしゃる伊勢メンの『美の心』と題してスピーチをいただきます」と挨拶がありました。ゲスト紹介の後、工藤メンによる食前感謝を受け、会食となりました。

伊勢メンによる「美の心」についての卓話、美とは何でしょうかから始まりました。生活の中には美がいっぱい、季節事に部屋の装飾を変えることも美の心が働いている。安全安心な環境づくりの一端で例えば室内外の色を変える、これは経営者の美の心が働いた結

果である。観光業、財産づくりには美は宝の山である。しかし、日本人の美意識が無くなりつつあり日本の伝統を大切に物づくりが無くなって来ている。高校の教育が美の心を失っている現状をみるに、県内の美術団体、グループ、画家達は県内の美術館はこれでいいのか？等、日本人の美意識の心を導く重要性に直面しているとのことです。「美しくあれ」目、心、頭で見たものが自分の作品であり、余裕を持たなければ優しさは育たない。個性を育てるので絵は楽しく見てもらいたい。いつまでも美を求めて欲しいとお話頂きました。心に響く素晴らしいお話でした。



それぞれの担当者より8つの連絡報告がありました。

- ① 11/26 (土) 仙台YMCA 立町会館 会議室で「第2回北東部評議会」の開催案内。  
映画「飯館村の母ちゃんたち 土とともに」仙台市市活動サポートセンター・シアターホールで上映の案内。
- ② 11/27 (日)・12/23 (日) 仙台YNCA 街頭募金への参加者募集中、場所は三越付近・フォーラス付近・グッチ前・藤崎付近です。
- ③ 12/4 (日)「仙台YMCA 職員クリスマス」の案内。
- ④ 12/2 (金) 仙台市民会館で「第45回仙台YMCA クリスマス会」の案内。
- ⑤ 1/13 (金) 仙台YMCA 国際ホテル製菓専門学校主催の模擬結婚式の案内。
- ⑥ 2016年11月9日発行の理事通信の抜粋
  - ・第20回東日本区大会の登録費 メン 16,000円、メネット 15,000円、ユース(29歳以下) 8,000円、コメット(小学生) 5,000円。
  - ・EMC委員会より 2016年度-2017年度から東日本区大会に参加するヤング(39歳以下)には大会登録費の半額を補助することになりました。
- ⑦ 国際・地域協力募金「ドットYMCAパーカー販売」の案内。
- ⑧ 災害の支援活動費に充てる、真っ赤に実った“ワイズりんご”の案内。

田中会計からニコニコ12,000円の報告に続き、「伊勢さん有難うございました。優しそうで自分には非常に難しかった。」と中川メンの閉会の挨拶があり、吉田会長の閉会点鐘で終了しました。

## YMCA職員とのクリスマス

佐々木 絹子

12月4日(日)14時30分より、日本聖公会東北地区仙台基督教会にてクリスマス礼拝があり、引き続き、16時30分より、ミア・アンジェラー番町において、クリスマス祝会がもたれ、祝会に参加させて頂きました。

イエス・キリストの誕生が私達の為であったこと、キリストの誕生が無かったら、私達の救いがなかった事を思い、主の恵に感謝して、日頃言葉を交わせない職員の皆様と共においしい食事と飲物、楽しいゲームで大いにコミュニケーションをとらせて頂きました。

来年はさらに沢山の皆様と、ワイズの仲間も加わり、礼拝、祝会が開かれることを願いながら、お世話をして下さった方々に感謝し、報告といたします。





## 「飯館村の母ちゃんたち 土とともに」映画鑑賞をして

田中 京子

あれから5年半、映画をみながら震災が起きなければ、原発事故さえなければと思わずにはいられませんでした。

人々の被災地への関心意識が薄れて行く中、まだまだ復興は進んでいない。

そして5年過ぎたからこそ、いろいろ大変な想いで生活している人たちがいるのだと実感しました。

監督自らカメラを持って5年間のドキュメンタリーで親戚であり友人である栄子さんと芳子さんふたりは冗談を言い合い、笑いながら前向きに畑を耕し、野菜で漬物を作り、料理をし、味噌を作り、村の文化を絶えさないようにと力強く生きています。

除染作業が行われても高い放射線量、変わり果てた村の風景、先の見えない状況に追い込まれ不安を



感じながら泣き笑い・・・明るく笑っているふたりだけれど、時には涙があふれてくる、それでも笑わなくては前に進めない人との繋がりや家族との生活がもたに戻れない。来年3月帰村といってもまだまだ不安、こんな思いをしている人たちがいるということをもっと大勢の人たちに知ってほしいと思いました。この映画が各地で上映されることを願います。

## 16-17 北東部第二回評議会報告

横倉 純

11月26日(土)13時～仙台YMCA会議室に於いて、北東部の第二回評議会が開催されました。仙台クラブからは中川直前部長、吉田会長、佐々木副会長、横倉書記、田中会計担当と、評議会構成員フルキャストが出席しました。

議決権者数50名中21名出席、委任状20名、オブザーバー1名で会は成立しましたが、前橋、宇都宮東、会津、那須の4クラブが欠席となり、少し残念でもありました。

長岡部長報告では東日本区約定改定の進捗状況、東西日本区交流会の開催について、ネット活用のeラーニング学習導入の検討、目黒クラブの解散等について説明があり、出席の部事業主査、及び各クラブ会長からは上期の活動報告がなされ、それぞれクラブの特徴が感じられました。

若干の休憩を挟んだ後協議に入り、1号議案は第一回評議会で数字訂正等があった予算について再提案、2号議案では部会の決算報告がありそれぞれ承認された。

3号議案では「次々期北東部長を仙台青葉城クラブから選任」の旨提案があり承認となる。4号議案は継続案件となっている「北東部バナー作成について」討議され、歴史的背景も図案に反映されることがベターではないか、等の意見が出され再度継続案件となった。

5号議案では第一回評議会に提案され継続となった「部運営体制・部長選任方法について(みちのくエリア・北関東エリアを設ける)」を討議、活発な意見交換があり、結論としては、現行体制のままで見直すより、部を分割する方が間違いなく活性化する、ということで認識が一致した。今後機会をとらえ、区の役員会等にその意向を強く反映することを目指し、継続案件となった。

6号議案は、部ユースリーダーズ・アクト「福島の子もたちと一緒に笑顔！」(エンジョイドッチボール大会)について提案があり、北東部主催とするか、これまで運営開催を主導してきた(福島の子供たちを参加させるのは今回が初めて)宇都宮(とちぎYMCA)の実行委員会にするかの結論が出ず、別途宇都宮と相談により決定させ、メール等を活用し早期に周知、各クラブの支援金等の確定をさせることで了解となった。

監事講評の後、北東部の歌を斉唱し、16時過ぎに会が閉じられた。

評議会終了後、もりおかクラブ井上会長の知人が営む稲荷小路の中華店で希望者により懇親会が持たれた。ピクピク餃子と超ピクピク唐揚げに舌鼓を打ち、腹ごしらえとなり「飯館村の母ちゃんたち・・・」の映画会場に移動となった。

## 「第45回仙台YMCAクリスマス」に参加して

吉田 一恵

12月2日（金）仙台市民会館 展示室にて開催されました。

今年は45回と節目の開催との事で伊勢文夫（仙台広瀬川クラブ）実行委員長のもと仙台YMCAの職員の委員、協力委員、ワイズの委員で何か今までと違った心に残る会にしましょうと実行委員会を4回開催しました。今年は大きなツリーも飾られ、YMCAの職員の委員の手作りのデコレーションケーキと私達ワイズメンズクラブのメネットもメンの協力を得ながら、開会5時間前から会場に集まり、豚汁、コーンスープ、フルーツポンチ、お赤飯、いなりずし、おにぎり等を作り会場を盛り上げました。

礼拝は鈴木智恵美さんの司会で行われ、今年は女性アカペラグループ「ラ・カンパネッラの方達による賛美歌にいずみ愛泉教会の佐藤真史牧師から『宿なくとも命あふれる』のメッセージを頂きました。

会場も徐々に留学生に混じり家族連れの姿も見られ、いよいよ祝会、こちらは小野公平さんと野田祐梨さんの司会で伊勢文夫実行委員長の挨拶、乾杯で進行いたしました。

私達メネットの心のこもったお料理の出番の会食、お楽しみプログラムでは～クリスマスコンサート～♪アカペラグループ「ラ・カンパネッラ」と一緒にクリスマスソングを歌いましょう♪、～交流ゲーム～、そしてクリスマスカードコンテスト表彰、お楽しみ抽選会、例年より多く作った私達メネットのお料理も完配し、当初の目標の参加者があったと安堵しました。

村井伸夫総主事の閉会の挨拶で幕を閉じました。



## 第20回東日本区ワイズメネットのつどい ～ 竹内陶子氏をお招きして ～

今澤 智代

11月26日（土）東京YMCA東陽町センターにて、メネット会が行われました。土曜日とあって求めていた時間帯の切符が手に入らず、朝6時40分発の新幹線に乗りました。東京駅からは青葉城ワイズに加藤メネットの指示通り、表示を見ながらようやく目的に着きました。

開会は11時からでした。開会の挨拶から始まり、各クラブから集まったメネットの紹介がありました。メン12名を交え計58名の出席でした。委員会側からは今年度の事業計画として、国際プロジェクト、園内プロジェクト、メネットの集い、メネットアワーについて、その他、メネット委員会規則見直しについて、メネット国際登録料の検討、メネット献金（締め切りは2017年2月15日）についての報告がありました。

会食をしながらの各6部からのアピールタイムでは、「東京目黒クラブはなくなりました。」とのお話



しがあり、とても残念に思いました。他に、メネット会がないクラブ、メネットの活動は特にしていないクラブ等、いろいろなお話が聞けました。

会食後は講演会がありました。NHKアナウンサー竹内陶子氏、演題「子育てと仕事、放送の裏側」です。私たち女性にとってはお馴染みのアナウンサーです。壇上に上がるやいなや「メネット会と聞いていたのに男性も随分いますね」と、とてもざっくばらんで打ち解けた雰囲気うちに始まりました。「まだまだと思っているうちにNHK入局25年、6歳と双子の三女の母です。アナウンサーは、一見華やかそうに見えますけれど、苦情も多く、手紙、FAXがどんどん舞い込んできます。2003年大晦日の紅白歌合戦総合司会担当の時は、あまりの重圧にどうしようかと思いましたが、大きなチャンスは周りのみんなによって自分を変えさせてくれます。そして、自分を大きくするんです。試練に出会ったとき、それをどうやって乗り越えていくのか… ということだと思います。」と経験談を交えてのお話でした。テレビに登場したときと同様、明るく、身振り手振りを交えながら、楽しそうに話され、私たちも吸い込まれていくような感じになりました。意見があったら、NHKにクレームを送ってくださいとの事です。

最後に「メネットの願い」を竹内アナウンサーと一緒に歌って閉会后、全員で記念撮影をしました。和気藹々として楽しい集いでした。



## 他クラブリテンより抜粋 甲府クラブ11月号巻頭言 「幸せホルモン」

### 甲府ワイズメンズクラブ会長 丹後佳代

相変わらずの落ち着いたない天気が続いて、とうとう秋を 通り越し、冬になってしまいましたね。ワイズにとって大行事の1つバザーも終わり、ちょっとホっとしている私です。さて、今月はボランティア活動をする「幸せホルモン」が作られるというお話です。ある営業系企業の講演会で、「人のために役に立つ意味」について話をしたいと言われ、この「幸せホルモン」についてお話をしました。ボランティア活動や人のために何かをすることについて、何が良いのかは精神論で語られることが多いです。しかし、実は「人のために何かをすること」は科学的にも証明できるのです。人のために何かをすると「オキシトシン」という脳内ホルモンが分泌されます。このオキシトシンは「幸せホルモン」といわれ、人間にとって、良い影響を与えるホルモンです。ストレス軽減や愛情、信頼関係、精神安定を司るには欠かせないホルモンなのです。そのため、長生きすることにもこの「オキシトシン」が影響していると言われていています。残念ながら「オキシトシン＝ 幸せホルモン」を増やすことができる食べ物はありません。この「幸せホルモン」は人との関わりを積極的に持つこと、人に良いことをすること、人と喜びを共有することで分泌されます。ワイズ活動はこの「幸せホルモン」を分泌するには絶好の場になっています。最近、甲府クラブは元気が無いと多くの方から言われる ようになってきました。そこで、今後は、甲府クラブを活発にするにはどうしたらよいか？ 皆さんと一緒に考え行動していきたいと思えます。ぜひ、ご協力をお願いいたします。

## 国際地域協力募金 -街頭募金報告-

高松 成士

11月27日(日)午後2時~3時(予定では4時まで)、今年度第2回目の街頭募金運動を行いました。曇り空の中、立町を出発し、それぞれ4か所の指定場所にて街頭募金開始。佐藤義人実行委員長が4施設を2~3度ずつ巡回しながらの街頭募金でした。巷では「クウィーンズ駅伝2016 全日本実業団女子駅伝」が佳境を迎え、街中は人、人、人に溢れかえっていました。募金運動が始まって30分もすると小雨がちらつき始め、アーケードを通る人ごみも多くなり歩行者の迷惑を避けられない状況が見えてきました。2時45分、本部より状況を鑑み3時で終了するようとの連絡があり、やむなく募金運動を中止いたしました。ほんの1時間の募金運動にも拘らず、多くの職員を始め、ワイズメンズクラブ、幼稚園園児の方々の協力をいただき、市民の皆さんより温かな募金をお預かりすることができました。ご協力いただきました職員の皆さん、ありがとうございました。

<11月27日街頭募金集計報告>

藤崎デパート前 6,743円(協力者10名)

グッチ前 12,199円(協力者14名)

三越前 16,184円(協力者14名)

フォーラス前 7,202円(協力者14名)



## わたしの好きな言葉

「分け出る麓の道は多けれど、同じ雲井の月を見るかな」

小幡 忠弘

この歌は、仙台藩で伝承された古武道「柳生心眼流兵法」に伝えられている武術道歌です。初めにいただく巻物の中に記されており、もとは一休禅師の作とされています。このような歌は、様々な古武道に伝えられており、技のコツや心の持ちよう(心法)、人生や武道の心得を表しています。特にこの歌は、入門した者が初めて触れる武術道歌となっており、山に登る道は多いけれど、頂上から眺める月は一つであるという訳になり、真意としては、どんな技を習おうとも到達する極意は一つということです。この真意はどの分野、世界にも当てはまるのではないのでしょうか。また、人生にもあてはめられるのではないのでしょうか。人は生まれて死んでいきます。人生の中で、様々な出会い、別れ、経験をし、一生を終えます。麓から山の全容は見えませんが、頂上に到達したときに始めて全体が見渡せます。自分がどんな山に登っているのか定かではなく、道に迷うことも多々ありますが、一步一步マイペースで頂上を目指していきたいと思います。

## 12月第2例会報告

日時：2016年12月6日(火) 19:00~21:00

会場：仙台YMCA立町会館 会議室

出席者：今澤・佐々木・工藤・高松・鈴木・小幡・中川・横倉・吉田

① 12月クリスマス例会について討議、会場は仙台YMCA3階サービス実習室とし、会費はメ

ン・メネット共2,000円とする。クリスマス用お弁当を注文し、飲み物等を準備する。また、Yの製菓学院にケーキをお願いする。尚、礼拝を工藤ワイズをお願いした。

- ② 第2回「北東部評議会」、映画「飯館村の母ちゃんたち 土とともに」観賞、第45回「仙台YMCAクリスマス」等の各報告については、それぞれブリテンに掲載することとする。皆さんご覧ください。
- ③ 12月東日本区ニュース（理事通信）について、会長より説明がなされ、内容を確認する。
- ④ 12/9（金）石巻広域クラブクリスマス例会には、吉田会長、中川北東部直前部長の2名が出席する。
- ⑤ 上記と同日開催になる12/9（金）冬季ユースリーダー委嘱状授与式についても確認する。
- ⑥ 使用済み切手整理、例年11月例会で行っていたが、今年度はゲストを招いた関係でできなかった為、皆さんに自宅での整理をお願いする。工藤ワイズに準備をして頂き、12月例会で注意事項と併せ、使用済み切手を配布する。
- ⑦ 当クラブが幹事担当の新年合同例会開催日は1/17（火）に決定、会場等は別途確定する。
- ⑧ 次期クラブ会長の選任について頭出しがあり、1月中には確定することとする。
- ⑨ 仙台・仙台青葉城・仙台広瀬川・石巻広域「4クラブワイズメンズクラブ連絡会議会則」について、内容を確認する。
- ⑩ 「ワイズ野球ファン感謝献金」へのお誘い、を確認する。2017年5月末まで。

## 12～1月の主な予定

日 程	内 容
12月23日（祝）	仙台YMCA国際地域協力募金 街頭募金 14:00～16:00
12月29日（木） ～1月 3日（木）	仙台YMCA立町会館 年末年始休館
1月 5日（木）	仙台ワイズメンズクラブ第2例会
1月17日（火）	4クラブ合同新年例会 場所：蔵の庄総本店 時間：18時30分～

## 編集後記

定禅寺通りのけやき並木は光のページェントで賑わっています。毎年のことなので、わざわざ見に行くことはありませんが、たまたま通ったときには「きれえ～！」と言って思わずバックの中から携帯電話を取り出してしまいます。きれいなものは、いつまでも残るといいなあ～と思いました！Y. S

